いわみざわ市
緑の相談コーナーだより

室内公園 色彩館 SHIKISAIKAN
岩見沢市志文町７９４
No.４８７
2026年1月1日発行

いわみざわ公園バラ園 www.iwamizawa-park.com

今月の便り

マンリョウ

明けましておめでとうございます。商売繁盛と言われる縁起物マンリョウについて。マンリョウ（万両）はお正月飾りにも使われる赤い実の常緑低木です。センリョウ（千両）より大きな実をつけるため、一桁増やして名付けたといわれています。特に斑入りのタイプは、江戸時代、投機の対象になるほど縁起物として珍重されました。光沢のある葉を持つ、外見がナンテンに似たマンリョウもあり、見た目は似ていますが、見分け方は赤い実を葉の下につけるのがマンリョウ、葉の上に実をつけるのがセンリョウです。この他に「一両」「十両」「百両」もあります。一両がアリドウシ、十両がヤブコウジ、百両がカラタチバナです。光沢のある葉の「千両・万両・有り通し」と江戸時代には、はやし言葉にもなり人気だったようです。栽培ポイントは明るい日陰か半日陰で育てます。鉢植えの場合は表面が乾いたらたっぷり水を与えましょう。施肥はほとんど必要ありません。与える場合は春先と秋口に少量から。多すぎると実つきが悪くなるので注意しましょう。科：サクラソウ科　属：ヤブコウジ属　常緑低木、原産地：日本、朝鮮半島、中国他　樹形：20～1m（たかはし）

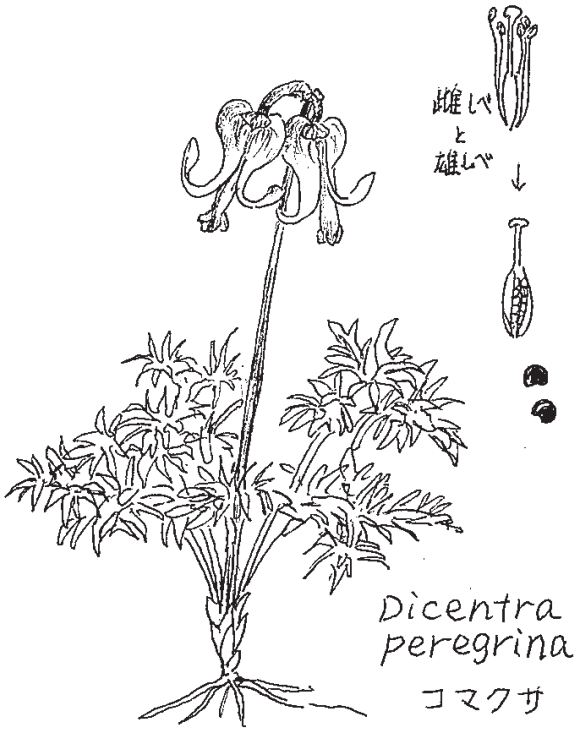
トウゴマ

いわみざわ公園バラ園では 2025 年に新しく作った「赤いバラと一年草の花壇」の一つにトウゴマを植えていました。赤くてヤツデのように大きな葉を広げて 2 メートル近くまで育ったカッコいい姿は北海道では珍しかったらしく、何人ものお客様に「何という植物ですか」と聞かれました。トウゴマは東アフリカ原産の薬用植物で耐寒性はなく北海道の花壇では一年草扱いです。学名の Ricinus(リキヌス) はラテン語でダニという意味で、それは 6 ミリ程の種子が虫のダニににているから。種子には有毒タンパク質のリシンと有毒アルカロイドのリシニンが含まれていてそれらは誤って口に入れると子どもなどは死に至ると言います。リシニンは殺虫剤としての効果をもつようですが加熱すれば分解されると言います。とはいえ人類は古くから薬用植物としてトウゴマを用いてきました。古代のエジプト、ギリシャ、インドなどにもトウゴマから絞った油をひまし油と

＊「今月の便り」　次ページへつづく⇒

として下剤として重宝してきたとの記述が残っているようです。最近では鑑賞植物としての人気もあります。自宅で楽しむ時などは子どもの種子の扱いなども気をつけるのが良いと思います。（きのした）

コマクサ

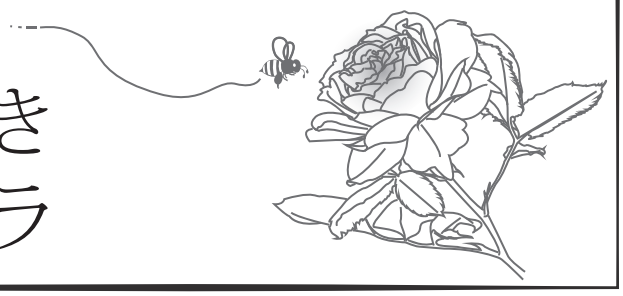


コマクサは漢字で「駒草」と書きます。駒とは「馬」を指し、花の形から「馬の顔のよう」と名付けられました。美しい花と、他の植物が生育できないような厳しい環境に生育することから「高山植物の女王」と呼ばれています。草丈が 10 ～ 15cm ほどの小さな花ですが、地上部からは想像できないような 50-100 cm ほどの長い根を張ります。この根のおかげで飛ばされることなく厳しい環境で生きていけるのです。北海道から本州中部地方の高山に分布し、岩手山や燕岳、白馬岳などで多く見ることができます。花の見ごろは 7 月～ 8 月にかけてですが、標高の低い場所では 5 月下旬～ 6 月中旬に見られます。北海道では知床半島、雌阿寒岳などで見られ特に大雪山系では天然記念物のウスバキチョウが生育していてその幼虫がコマクサを食草としています。コマクサを含むケシ科コマクサ属は約 20 種類の仲間がありますが、日本に自生しているのは本種のみです。大半が北アメリカに分布していて、アフリカや東アジアに数種自生しています。近年は園芸化が進み、アメリカコマクサや日本のコマクサとの交配種がディケントラの名前で流通しています。色も濃いピンクから白まで多彩になりました。庭で育てることもできますが夏の暑さにはとても弱いので夏の暑さをうまく乗り切ることが、育て方の大きなポイントになります。（いとう）

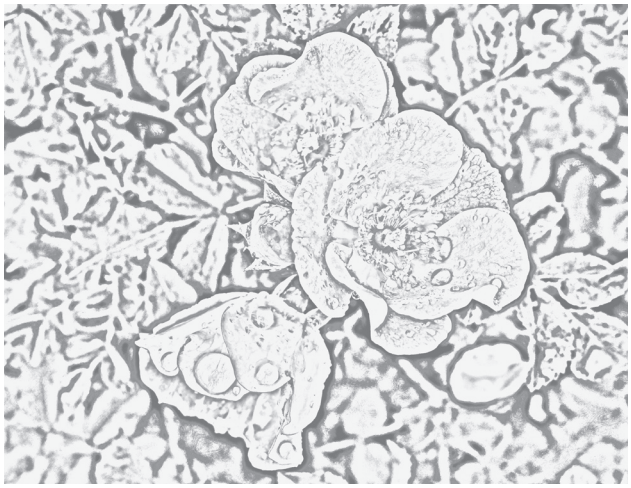
お知らせ

【PIZZERIA　Lucci のお知らせ】
1 月から 3 月末までの期間、土日祝のみの営業になります。
2026 年営業は 1 月 10 日からになります。ご来店お待ちしております。
営業時間　11：30 ～ 15：00（L.O 14:30)

ひとつき ひとバラ



文：　曽　根　浩　太
（いわみざわ公園バラ園）



第百三十三回

シュラブローズ

ケアフリー ディライト

Carefree Delight
作出国：フランス
作出者：Jacques Mouchotte
作出年：1991 年
ハーディネスゾーン：Z5
繰返し咲き
交雑：(Eyepaint × Nirvana) ×Smarty

12 月は＋10℃くらいの予報が出るなど気温が高く、降った雪もかなり溶けましたね。これから帳尻合わせのようにドカ雪が降るのではないかとドキドキしています。雪が溶けたり、凍ったりするとバラの枝にとっても凍害リスクが高まるのではないかと思います。早く雪の中に埋もれてほしいです。今回は手間いらずで栽培が楽なケアフリー ディライトを紹介したいと思います。ケアフリー ディライトはウェルカムガーデンの L 字型花壇に植栽されています。花はピンクで真ん中は白、蕊が黄色の小輪一重咲きです。花びらが少しくしゃっとしていて可愛らしいです。高さ 90 ㎝、幅 150 ㎝程度に育つ横張りする品種で、葉は小さく、株の大きさや花の大きさとマッチしています。花がらを摘まなければヒップになりますが、繰返し咲いてくれるので、秋まで花をしっかり楽しみたい方は花がらを切りましょう。病気等にも割と強く、黒点病にかかっても半分以上は葉を残しています。ハーディネスゾーンも Z5 なので、耐寒性も強く、岩見沢ではほぼ凍害はありません。名前の通り気楽に育てられるバラです。かなり細枝でも開花するため、剪定した方がよりよく咲きますが、剪定しなくてもある程度咲きそうです。また、花弁は汚くなる前に散ってしまいます。一重咲きのため下に落ちてもあまり目立ちません。残された花がらも小さいため目立ちにくいです。ケアフリーの名前がついたバラは他にもあり、当園ではケアフリー ビューティーとケアフリー サンシャインの二つがあります。ケアフリー ディライトの別名はビンゴ メイディランド。ケアフリーシリーズであり、メイディランドシリーズでもあります。メイディランドシリーズのおおまかな特徴は横張り性で強健なシュラブという感じでしょうか。当園のメイディランドシリーズも生育旺盛なバラが多いです。作出者の Jacques Mouchotte 氏はフランス、メイアン社の育種家で、当園には残念ながら植えていませんがこの品種の他にケアフリー ワンダー、ケアフリー スピリットの二つのケアフリー品種を作っています。バラ栽培は手間がかかり大変なもの、と思われる方も多いですが、品種を選べば本当に簡単に綺麗な花を咲かせてくれるバラもあります。ご自身の状況に合わせて品種を選んでバラを楽しんでもらいたいなと思います。

色彩館　開花情報

室内公園「色彩館」の大温室内では１月末ごろからジンチョウゲやミモザの開花が始まってきます。外の冬景色とは別世界の春の陽気に包まれた空間で、温かい飲み物を飲みつつほっと一息、一足早い春を感じてみませんか。たくさんのご来園お待ちしております。

今月の市民園芸講座のご案内

●1 月 10 日（土）　折り紙でバラをつくろう　初級

参加費：無料　定員：15 名　講師：バラ園スタッフ
持ち物：おりがみ　筆記用具

※お申し込みは講座開催月の 1 日 9：00 ～電話で受付ております。

※最新の開催状況についてはお電話かホームページにてご確認ください。
電話 :0126-25-6111　ホームページ :https://iwamizawa-park.com/
※資料ご用意の都合上、なるべく事前のお申し込みをお願いいたします。
連絡なしの欠席・遅刻はお申込みをしたい方のご迷惑となりますのでご遠慮ください。
※材料費のかかる講座は、講師の準備等の都合上、開催日３～４日位前までにお申込みをお願いいたします。
※換気の為、扉・窓等を開放いたします。悪天の際は暖かい格好でお越しください。

編集・発行　空知リゾートシティ株式会社 (いわみざわ公園バラ園指定管理者)
お問合わせ　いわみざわ公園バラ園　室内公園「色彩館」 0126-25-6111